

5番 高阪康彦でございます。議長の許可を戴きましたので、私は、清新クラブを代表して、町長の所信表明より順次質問を致します。

さて、海の向こうではチェンジを掛け声にオバマ政権が誕生し、我国では「コンクリートから人へ」と訴えた、民主党政権が誕生しました。それから、1年余、半年余が過ぎようとしていますが、共に支持率は下降しています。変革を期待した国民の期待に応え切れていないことだと思います。又、与野党、処を変えた、政治と金の問題も影響しているものと思います。誕生時の清新さと期待感が大きく失われています。

先日新年度の国家予算が衆議院を通過しましたが、税収を上回る大量の国債が計上されています。このような予算が続けられるとは思えませんし、この大量の国債のツケは最終的には私達国民に降りかかります。今、私達が求めているのは、人気取りの政策ではなく、将来に光のみえる、私達が共有出来るビジョンではないでしょうか。例えば、財源に限りがあるとなれば、福祉政策に於いても、高福祉高負担の福祉を選択するのか、低福祉低負担を選択をするのか、その場合その姿はどうなるのか。自然環境、エコなどを重視した社会や経済はどんな姿になるのか。要は、私達が夢と希望が持てる社会、安心して老後を迎えられる社会の構築のための共通認識を探り、21世紀を生き抜くためのバックボーンとなるビジョンを創造することであります。そういった政治や指導者が求められています。その為には、私たちの意識も大きくチェンジをしなければならないと思います。

質問に入ります。私は8点について質問致します、答弁をお願いします。

1点目は、22年度予算から質問を致します。中日新聞の尾張版には、各自治体の予算を、家計に合わせ、解りやすく説明がされています。それに習い蟹江町の場合を2千分の1に縮小して考えますと、蟹江さんは1年間生活をするのに474万円が必要となります。その内給料(町民税)は238万円です。240万程足りませんが、足りない分は親からの仕送り(国・県の補助)とアルバイト代(諸収入)で賄いたいが、それでは足りないので、貯金(財政調整基金)を17万5千円下ろし、ローン(町債)を48万8千円組みました。昨年からは給料が10万円ほど減っていますが、新しいキッチンも出来上がったので、その分が助かるかと思っていましたが、ローンの返済(交債費)が徐々に増え、子供の仕送り(国保、介護、下水道などの操出金)も増え、古い建物の建て替えなどもあり、楽にはならない姿が見えます。そして、年度末には、ローンの残高が442万円になります。と云った記事になると思います。ここでいいです、1年間の生活費は財政規模のことでありローンの残高は町債の残高であります。

私が質問をしますのは、このローンの部分すなわち町債からであります。町債の予算額は9億7千5百万円組まれています。その内の7億が臨時財政対策債であります。臨時財政対策債は、平成13年度以降に発行が認められ、地方交付税の不足分として、形式的には各自治体の借入となりますが、実質的には、償還に要する費用が後年度の地方交付税に算入されるため、地方交付税の代潜財源と見られています。発行限度額はあるものの、各自

治体が自由に発行出来、使途の制限もないと聞いています。蟹江町は平成13年以降30億を超す臨時財政対策債が発行されています。そこで、お伺いをしますが、町としては、この臨時財政対策債を発行する基準、発行額の決め方、又、実際に後年、地方交付税で措置されるものなのか。お尋ねをします。

2点目・3点目は「生き生きと暮らせる健やかなまちづくり」から質問を致します。

「かにえ活き生きスポーツクラブ」の設立が予定をされています。スポーツ人口の底辺が増加をして、スポーツが活性化することが期待されますし、スポーツを通じて健康が増進される事も期待が出来ます。効果の一つとして医療費の削減も期待出来ると思われま。この「かにえ活き生きスポーツクラブ」は行政的には、生涯学習課の担当になると思われまますが、健康の増進、保持、指導などは、どの課が、どのように拘わっていくのか。お尋ねをします。

3点目は、包括支援センター及び認知症対応型グループホームの増設、並びに小規模特別養護老人ホームの新設について準備を図る。とありますが具体的な計画が解っていればお聞かせを願いたいと思います。

4点目は「自然と共生する快適なまちづくり」からお尋ねを致します。

平成22年度には、本町地区において新たな資源ゴミ置き場を設置したいとあります。瓶や缶などの資源ゴミを1ヶ月も家においていくのは、大変なことであります。新聞などは、資源ゴミ以外の日に、業者さんが集めて見えるようですが、本町の住民にとっては、常設の資源ゴミ置き場の建設は、より便利になると思われまますが、どの程度の規模を考えて見えるのか。お尋ねをしたいと思いま。と申しますのは、こういった施設は、総論賛成、各論反対のケースがあります。設置については、近隣住民の迷惑にならないよう、音、臭い、開場時間等に万全の注意を払って戴きたいと思いま。

又、ネーミングの上手い町長ですので、考えて欲しいのですが、資源ゴミ置き場と云う名称は、あまり良い印象がしません。「本町リサイクルステーション」「リサイクルステーション〇〇」に変えられたらどうでしょうか。又、現在、町内で分別をした資源ゴミの量により、町内に補助金が交付されています。常設の資源ゴミ置き場が出来た場合、当然、現在の資源ゴミ置き場の量は減るわけであり、補助金も減額になると思いま。既に学戸地区には常設の資源ゴミ置き場がありますが、補助金などはどうなっているのか。併せてお伺いま。

5点目は「秩序ある楽しく歩けるまちづくり」から質問を致します。

駐輪場整備事業として、近鉄蟹江駅付近に位置する二つの駐輪場について利用者の利便を図るため、民間への管理委託も視野に入れた整備を検討するとありますが、具体的にはどのような事になるのか、お聞かせを願いたいと思いま。

又、旧本町地区が城という町名に変わりました。私は過去に、一般質問の中で話をしたこともありましたが、歴史ある「城」を生かした町づくりが出来ないものかと考えていま。つい最近、ボランティアガイドさんのお骨折りにより、産業会館の前で蟹江城伝説と銘を

打ち、イベントが開催されました。戦国武将の鎧、兜をかぶった兵士が戦国時代そのままの戦いを披露され、イベントが終わると蟹江城跡の石碑まで行進をされました。当日近鉄ハイキングに参加された大勢の皆さんが石碑の前で、蟹江城の歴史を勉強して歩いていかれました。あの辺りは、城の名残で敵が攻めてきても、攻めにくいように、長い直線の道はなく、細い道が鍵の手のようになっています。防災的には、消防自動車も入れないところですよ。

そこで、あの辺りを城の歴史を生かした整備をして、将来は住民が憩いを求められる城跡公園として、又、城地区の住民が災害時に避難出来るような防災公園としても活用出来るまちづくりは出来ないでしょうか。近くには歴史資料館があり、堀もあります。十年、二十年かかるとしても城地区の住民が夢を見られるような、計画を立案して戴きたいと思いますが、ご意見をお伺い致します。

6点目は「活力と交流のまちづくり」から質問をします。

みちの駅、愛称「みちくさの駅 楽人」が5月にオープンします。この建物は、経済危機対策臨時交付金で建設され、建設には議会に於いて、賛成、反対の意見が分かれた経緯があります。私達、清新クラブは、観光の情報発信、又、協働の町づくりの交流を促進する、拠点施設として、十分に機能するものと確信をして、建設に賛成を致しました。町としては、多様な活用方法を考えておられるようではありますが、町民の間にも色々な意見があります。実際にはどのように機能すると思われているのか。運営方法、運営主体を含めてお聞かせをお願いします。

7点目は「町民と手をたずさえるまちづくり」からの滞納対策について質問をします。

平成22年度からは、町県民税の徴収の一部を愛知県に委託をするとありますが、どのようにされるのか、具体的にお聞かせをお願いします。

又、町の対策としては、非常事態を宣言し、五本の柱の方策を立てて、より積極的に徴収事務当たられておられます。非常事態宣言の中にもありますが、「税の公平性の確保」「納税意識の涵養に支障をきたさない」為にも必要な事でありまして、町民に、この事を周知させることが大切であります。税を徴収すると云う仕事は、大変な仕事だと思います。聞く処によりますと、収納課に於いては一生懸命頑張って、以前と比べ収納額がずいぶんと上がっていると聞きしました。本当にご苦労様です。と申しあげたいと思います。

そこで、お聞きをするわけですが、町として滞納者が増加をして、滞納が多くなる一番の原因は何と考えておられるのか。お尋ねをします。

最後に8点目は、事業仕分けについてお伺いをいたします。

所信には、新しい公共づくりを図るのに、事業仕分けも視野に入れているとあります。町は現在、蟹江町行政改革・集中改革プランの中で、各事業毎に、現況から改善の目標を決め、実行をされておられますし、達成度も検証をされておられると思います。改めて、事業仕分けを視野に入れるとあるのは、巷間、云われている事業仕分け、つまり官だけで仕分けするのではなく、住民代表、有識者を加えての、事業仕分けを考えてみえるのでしょうか。確かに、タウンミーティングなどで住民の意見を聞く場合と、事業仕分けに、直

接、住民が携わる場合とは、住民の受けるインパクトが違ってくると思われますし、事業自体を住民に公表する。この事自体にインパクトがあると思います。

この2月に会派で、小田原市へ「事業仕分け」のテーマで視察に行ってきました。事業仕分けの効果、結果、など色々と勉強してきましたが、私が一番、意外であったのは、事業仕分けを職員の方が望まれたと云うことでした。一般的に、官は、その道のスペシャリストとっていますので、あまり民間の意見は聞き入れたくないものだと思っていました。しかし、事業によっては、民間の意見を取り入れた方が、スムーズに出来る。と云われたことが印象に残りました。

そこで、お伺いしますが、この所信で考えてみえる事業仕分けとは、どういった内容のものなのか、又、既に、施策として勉強を始められてみえるのか、お尋ねをします。

以上、8点についてお答えをお願いします。